

編集部より

編集部長 川端 由美子(都八王子北高・校長)

令和2年度の編集部の活動予定を紹介します。

1 研究集録57号の発行

コロナの影響で、先の見えない状況もありますが、令和3年3月の発行を目指して取り組みます。各分科会の1年間の研究成果を掲載する予定です。

この研究集録は、会員及び東京都の国立、公立、私立の高等学校に配布します。

また、研究集録のバックナンバーについても、事務局と連携して、都数研のWebページに掲載するための準備を進めています。会員限定でWebページでもバックナンバーを閲覧することができます。

2 デジタル会報の発行

例年7月、11月、3月にデジタル会報を発行しています。本年については、各研究会、講演会の状況を見て、2回の発行となる場合もあります。7月号については、8月下旬の発行予定です。また、事務局と連携して都数研のWebページから閲覧できるようにしており、過去に発行した会報もデジタル化し都数研Webページに掲載しております。

このデジタル会報は、会員以外のどなたでも閲覧することができます。

3 研究集録に掲載する投稿論文募集

次号の会報146号で、投稿論文の詳細を都数研Webページでご連絡いたします。

投稿論文は「数学教育研究を通して高等学校の数学教育の発展を図り、社会発展に貢献する」という東京都高等学校数学研究会の設立趣旨にかなっった、実践に役立つ各分科会での研究、交流、協議の成果をまとめたものとします。また、最近の数学教育や生徒の実態についての私見や情報交換も含む内容のものとなります。

なお、提出された投稿論文は、本研究会にて査読させていただきます。

4 勉強会の実施

令和2年2月に、編集部主催の第7回勉強会を都立立川高校にて実施しました。編集部員を含めた3名の発表と元都数研会長であり、現在、法政大学/洗足学園音楽大学の田神仁先生から講演をいただきました。今年度も2月に実施予定です。

5 編集部へのお誘い

本年も編集部への勧誘を積極的に進めてまいります。現在編集部員は31名です。

華々しい研究活動と違い、各分科会や研究協議での講演や発表などの様々な活動をまとめたり、原稿依頼や集約したりと地道な活動をおこなっています。しかし、編集の企画、計画にも関わりながら研究会全体を知る機会にもなると思います。是非、皆様のご参加をお待ちしています。

事務局より

事務局長 宇佐美俊哉(都保谷高)

1 令和2年度 都数研 関連の主な行事(予定)

- 5月16日(土) 総会 都立武蔵高校 (中止)
- 6月20日(土) 第94回授業研究 (10月29日に延期)
(研修センターとの連携研修)
- 7月2日(木) 都数研講演会・研究発表会
講演者 阿原 一志 先生(明治大学 教授)
- 8月下旬 高校生のための先端数理科学見学会
(オンラインによる見学に変更)
- 8月5日(水)~8月6日(木)
第102回全国算数・数学教育研究(茨城)大会
[誌上发表による開催]
- 10月29日(木) 第94回授業研究[会場校 都立大江戸高校]
(研修センターとの連携研修)
- 11月13日(金) 第95回授業研究[会場校 都立武蔵丘高校]
(研修センターとの連携研修)
- 2月上旬 編集部勉強会 [会場校・日程の詳細未定]
- 2月上旬 宿泊研修(1泊2日、[宿泊地・日程の詳細未定])

2 令和2年度会費納入のお知らせ

申込方法

*正会員・賛助会員(事前に承認を得ている方)は、都数研WEBに掲載の申込フォームよりお申込みいただけます。

*賛助会員の新規入会の場合は、事務局へご連絡ください。

振込先

銀行 三菱UFJ銀行 渋谷支店
(店番135 普通口座0128396)

名義 トキョウトコトガッコウ スガケキョウイクケンギョウカイ
東京都高等学校 数学教育研究会
ジムキョクチャウ フジタズミ
事務局長 藤田泉

分科会で一緒に研究しませんか！

各分科会の活動内容については下記世話人までご連絡ください。

- (1) 学習指導法分科会
荻野大吾(都日比谷高), 村形政信(都西高)
- (2) 数学I分科会
村越 智(都東村山西高), 佐々木啓丞(都練馬工業高)
- (3) ICT分科会
宇佐美俊哉(都保谷高), 飯塚京子(都武蔵丘高)
- (4) 大学入試分科会
鈴木智秀(都町田高), 前田 徹(都小石川中等)
- (5) 定通分科会
浅井嘉信(都蔵前工業高)
池田卓也(都一橋高), 松澤匡弘(都浅草高)